



宮田 真理子

町民の為の政策企画室を 体制的に厳しい

質問

町長が政策企画室を公約に、二期目の当選を果たし一年がたちました。文教施設整備課を設置し、企画担当を一人増員したとして、いまだに政策企画室の形が見えてまいりません。

先日、町民懇談会が行われ、町を思う町民の皆さまの御意見を伺い知る事ができました。東口活性化、児童館建設、企業誘致、etc問題山積です。町民の意見、要望、企画等を聴き、政策を速やかに実行に移せる部署が必要であると思われれます。

町長の一期目には、「町長室を一階に持ってきて、オープンに町民の声を聴きたい。」というお話を伺った覚えがあります。そして二期目の公約の「政策企画

室(仮称)の新設で速やかな政策の実行を図る。」「町民中心の政策提案の為の機構を新設する。」この言葉を私は信じたのです。

役場というものは、敷居が高く、入りづらいところなのです。町議としても、皆さまの声をお届けしますと入りやすい・話しやすい場所が必要だと思われれます。文教施設整備課と政務企画室というものは全く別物であります。文教施設のほうも、徐々に形になりつつあります。町民の提案、企画、意見を持つていって聴いてくれる政務企画室を、民間から企画室員を公募する等し、設置してはいかがでしょうか。

町長答弁

一期目の仕事の中で、自分の思っている事が役場の中、或いは町の中に伝わって行かないと感じていました。そして二期目の公約の一つとしてスピーディーで効果的な政策を行いたいという思いから、政策企画室を設置したいと申しました。

現在、企画政策室という名称の部署こそありませんが、湯沢町最大の課題である文教施設整備については、独立した組織を立ち上げました。

尚、今後は職員定数152名から平成28年4月には130名まで削減する中で、新たに政策企画室という独立した部署を設置することは、体制的にも厳しい。私の考えてきた機能については、企画財政班を中心に他

の部署と連携をはからせ、緊急事業の実施、対応して行きたいと考えています。

非常に厳しい現状の中で、形の上で政策企画室を置くというのは、大変厳しい状況だということを理解していただきたい。

一期目には、一階に町長室をと考えたが、庁舎が長い年月が経っており、金庫等の配置を考えると一階に町長室を持つてくることは難しいということでした。

町民の声を町行政の中というのですが、町民の皆さまから言って来て頂くこともあろうかと思いますが、これは地域を代表して行っている議員の方の所に持って行って、上げていただけ



選挙公約でもあった政策企画室の設置はどうなったか

ればと思っております。

アンケートの結果等を見ると、「町は勝手に決めて、何やってるか分からない」という内容のものが結構ありました。こういう部署(政策企画室)があれば、そこで私の思いを検討してもらって、そして町民の皆さんに繋げられるということになるかと思えます。

私も6年目に入っておりますが、一生懸命頑張ります。